

友人と何度か飲みに行ったスナックでのお話です。その店のママは格闘技大好きで K-1 やプロレスなんかの話でよく盛り上がってました。僕の願望は女性と戦ってみたい、もしくは自分のやられている姿を女性に見られたいのですが、そんなことは言い出せず普通に格闘技好きの一人として話してました。何度めか店に行ったとき 友人が急用で先に帰ることになり僕一人でもう少し店で飲むことになりました。友人の前では言いにくかったのですが一人でママと話す事になったので思い切って少し願望を打ち明けました。一度格闘技の対戦してみたい気持ちがあると。するとママがあなたは今まで格闘技習ったことあるの？ 無いけど体験してみたい気持ちは有ると言いました。もちろん全然強くないですけどねと。少し時間が過ぎた頃ちょっとあなたに話があるのだけどもうすぐお店閉めるから都合よければ聞いてくれないかと言われ、何だろうと思いつつも期待も込めて話を聞くことにしました。ちなみにママは僕より10歳位歳上の感じの30後半の感じでした。お客が居なくなった時 格闘技やってみたいと言ってたけど 私の知り合いの女性にボクシングとか総合格闘技も習ってる女の子がいるんだけど私の見てる前で対戦してみないと言ってきました。少し迷いましたが自分の願望に完全に当てはまる事なので やってみたいですよと答えました。それなら女の子に了解取るから 又連絡するからメールアドレス聞かれ連絡を待つことになりました。このことは人には知られたくないので秘密にして欲しいと言われ 僕も人には知られたくないので二人の秘密という事にしました。後日メールが届き 相手の女の子は了承してくれたので お互い都合の合う日で行うことになりました。場所は店の2階の空き部屋で 割と広い倉庫のような部屋ということでした。話はスムーズに進み次の店の休み の日曜日に対戦ということに決まりました。用意するものはマウスピースだけは欲しければ自分で用意するように言われ ボクシング対戦だと教えられました。あとの用具やコスチュームは用意するのでマウスピースだけ買って行くことにしました。不安と興奮や妄想を抱きながら対戦の日を待ちました。当日店に出向くと ママが普段着で店を出迎えてくれました。よく来てくれたね 対戦見るの楽しみよと笑顔で言われ 興奮を覚えました。試合についてだけど 極力怪我のないようにするけど 何かあっても自己責任 君が負けると思うけど完全ノックアウトするまでやってもらおうよとニヤリと笑い言われ ハイと答えました。それじゃあ相手の子がもうすぐ来るのでそれまで2階で 準備運動するなりしていいと言われ一人で先に上がり 柔軟運動や 自己流のシャドウボクシングをしました。しばらくすると階段を上がって

くる足音とが聞こえドキドキして 待っているとママに続いて対戦者の女の子が来ました 緊張して
よろしくお願ひしますと言うと よろしくと軽く返事が帰ってきました 相手の女性は印象としては僕
より背が高く感じられる バレーの選手のような感じがしました それでは着替えてもらおうかなと
言われ 上半身は裸になるように指示され下はこれ履いてと 白のナイロン製の短パンを渡され
ました 対戦者はスポーツブラに青のトランクスでした。着替え終わると 大きめのグローブをは
めてもらい ヘッドギアもつけてもらいました 付けてもらっている最中いよいよ人生初ボクシング
が始まるんだと思い すごい興奮に襲われましたマウスピースをはめ準備は整いました 何度ダ
ウンしてもいいけど 完全 KO するまでやるので カウントはとらないからね それでは試合開始
ママが口でカーンとゴングまねとともに試合が始まりました。相手の女性はさすがに経験者だけ
あって 軽いステップでしっかりガードして 打って来いと挑発してきました、僕は軽めにパンチを
出すと完全読まれて 全く当たりませんでした ママがもっと本気出して その子はとても強いから
自分より強いことはすぐにわかりました、いくらパンチを出しても交わすか ガードでヒットさせるこ
とはできません 既に僕は息が上がってしまいグローブがものすごく重く感じてきました やっと3
分がたち 1R終了しました 息をはあはあさせて 部屋の隅に行くとママに マウスピースを外し
てもらい 用意してあったバケツに うがいさせてもらいました、額からは汗が浮かび上がってまし
た そこでママに僕の股間を触られ やっぱりねと 勃起していることを悟ら れてしまいました。も
う正直に ボコボコにしてください 見られたいですと打ち明けました。最初からそうだとは思って
たはよ じっくり見ているから楽しませてねと微笑んでくれました。相手の女性も それじゃ
あ遠慮なくボコボコにノックアウトするねと ほほ笑みかけてきました。2R開始です ここからは
攻撃することはやめ 受身のみになりました ガードはしてたのですが ガードの甘い箇所を狙っ
てパンチを打ってきました ボディーに強いパンチをもらい うっ と声をもらしてしまいました いい
声が したわよでもまだまだ終わらせないからね ここで2R終了となりました インターバルのあ
いだ 息をはあはあさせ 体にもうっすら汗をかいてきた姿を見て だんだんいい姿になってきた
わよ 体にぴったりした ツルツル素材の短パンも いいね 見てる私も興奮してきたと言ってくれ
ました。3R開始 ガードが下がってきた顔面に パンチが入る回数が増えてきました 本気で殴
られたら ノックアウトされるでしょうが じっくり楽しむように 手加減したパンチを出しているの

ふらつくことはあっても なんとかダウンはま逃れてる状態でした 顔面がパンチで左右に振られ
フラフラになってきました 何とかこのラウンドも ダウンなく終わりました 演技でダウンするのはや
めようと決めました 多分もうすぐ人生初の本当のダウンを経験するのだと思いました。インター
バルでマウスピース外してもらおうと ねっとりとした 唾液が出てきました。汗だくになってきたカラ
ダに スポンジで水をかけてもらい 気持ちよく感じられました 短パンの中にも水を入れてもらい
汗と水でびたびたになってしまいました。 続く